

(2026年6月24日発表)

## 7月1日 令和8年度 静岡市依存症関連問題研修会の開催

静岡市は、薬物依存症問題研究の第一人者である松本俊彦(まつもと としひこ)氏を招き、若年層に増加しているリストカットや市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)などの依存行動について理解を深める研修会を開催します。

本研修会は、支援機関の職員などを対象とし、本人への支援や、家族など周囲の関係者を含めた回復のあり方について、講義および事例検討を通じて学ぶものです。

### 【趣旨・背景】

- ・近年、若者を取り巻く依存や自傷行為の問題が全国的に深刻化しています。
- ・厚生労働省の調査では、市販薬の過剰摂取による救急搬送や相談件数が増加傾向にあり、特に10代から20代の若年層の問題として社会的関心が高まっています。
- ・市販薬の過剰摂取やリストカットといった依存行動の背景には、孤独や孤立、虐待、いじめ、不登校、家族関係の課題など複雑な要因が存在しています。
- ・本研修会では、第一部の講義において、依存行動をやめられない本人の理解や、関わりに疲弊した家族への支援方法など、支援者としての具体的な対応方法を学びます。
- ・第二部の事例検討では、架空事例を用い、本人の生きづらさと家族の葛藤に焦点をあて、支援者がどのように本人や家族に寄り添い、地域で支えていくかを考えます。

### 【開催概要】

日時:2026年7月1日(水) 13時30分から16時まで

会場:静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ 10階 1001-2会議室(駿河区東静岡二丁目3番1号)

テーマ:「正す支援」から『理解する支援』へ

第一部 講義 「依存の理解から始まる本人・家族支援」

講師:国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 松本 俊彦氏

第二部 事例検討 「事例からよみとく支援の在り方」

講師:松本 俊彦氏、静岡市こころの健康センター所長 大久保 聡子(おおくぼ さとこ)(精神科医) 他

参加者:事前に申し込みのあった支援機関等の職員 約100名が来場を予定

なお、後日行われるオンデマンド配信にて、約170名が視聴を予定

### 【取材について】

- ・第一部のみ取材いただけます。事前の連絡は不要です。開催日時に直接会場へお越しください。
- ・報道機関用の駐車場はありません。近隣の民間駐車場をご利用ください。

### 【問い合わせ先】

こころの健康センター(葵区柚木1014)、担当:板倉・松田、電話:054-262-3011